



グルモール

第 1 号

JAPANESE SCHOOL NEW DELHI 2024

令和 7 年 4 月 30 日(火)

令和 7 年度の教育活動がスタートしました

校長 尾後貫 智

4 月 15 日 (火)、例年よりも一週間遅く令和 7 年度のニューデリー日本人学校の教育活動がスタートしました。1 つ進級した初々しい子どもたちの姿がとても印象的でした。着任式では新しく赴任した 11 名の職員を迎え、またナマステの会では 32 名の新しい友だちと出会いの挨拶を交わしました。翌日の入学式では、新 1 年生が 25 名、新 7 年生が 24 名入学し、全校児童生徒 251 名でのスタートとなりました。これで昨年の 4 月のスタートと比べて 19 名増えたことになります。

昨日は、授業参観、学級懇談会、PTA 総会がありました。多くの保護者のみなさまが PTA 総会までご参加いただき、ありがとうございました。その中で私は以下の話をさせていただきました。

本校の学校教育目標は「豊かな人間性と国際感覚を身につけた心身共に健全な児童生徒の育成」となっています。この学校教育目標を具現化するためのめざす児童生徒像として 4 つの柱を立てています。

- ① 考える子
- ② やさしい子
- ③ がんばる子
- ④ わかり合える子

私も 3 年目を迎えましたので、子どもたちにこういう子になってほしいと願いを込めてこの 4 つの児童生徒像について私なりにかみ砕いて始業式で次のような話をしたことをお伝えしました。

1 つめの「考える子」については、ただ考えるだけでは頭がよくなりません。人間は考えて行動する生き物ですが、今年は「よく」考える子をめざそうと話しました。よく考えるとはどういうことか、子どもたちに説明しました。「なぜ、どうして」の 2 つの疑問を持つことがよく考えることに繋がるんだと話しました。生活や学習の中で問題意識を持つことが、深い思考になっていくと考えるからです。

2 つめのやさしい子については、ただやさしいだけでなく、その前に「だれにでも」やさしい子になってほしいと話しました。親しい友だちにやさしくするのは当たり前ですが、そこにとどまらずに普段あまり話したことのない友だちに対してもやさしくできるかどうかが本当にやさしい子になると話しました。

3 つめのがんばる子にもつけたしました。「あきらめないで」がんばる子を目指そうとしました。一時的な頑張りだけでなく、持続して頑張ることが、自分の目標を達成できることにつながると考えるからです。

最後の 4 つ目のわかり合える子については、その前に「誰とでも」をつけました。現代の世の中を見回しても、戦争や紛争が世界各地で起こっています。これは、人々が「わかり合えていない」からだと思います。自分と違う考えや意見を持つ相手を排除したり、無視するのではなく、それを理解し、認め

ていけるようになってほしいと願います。相手の意見や考えを理解し、認めるということは、相手を尊重することに他なりません。

これらは本校の児童生徒像にちょっと付け加えただけですが、これは一見簡単なようですが、よく考えてみると、案外難しいことだと思います。しかし、ニューデリー日本人学校の子どもたちならそのような子どもたちに成長していけると私は考えています。

次に話したことは、ニューデリー日本人学校の長い歴史の中での今年の位置づけについてです。昨年度は創立60周年という大きな節目の年でもありました。では今年かというと、予定通りに校舎の建て替えが進み、来年の8月に無事に完成するための1年間であってほしいことは誰もが願っているところではあります。しかし、年間約3分の1の児童生徒が転出入する本校においては、今年帰国予定の子どもたちは来年完成の新しい校舎に入ることはできません。そのような子どもたちにとっては、ニューデリーでの学校生活は今年が最後であり、全てになります。したがって、今年の学校の課題は、「教育の質を落としてはいけないこと」だと認識しています。今年も一つ一つの学校行事・教育活動を「一期一会」の精神で取り組んでいきたいと思っています。校舎の建て替えに際して、多少のご不便をおかけしているところではありますが、保護者のみなさまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

さらに今年度より1人1台端末の本格的な運用が始まっていること。当然これまでの授業に加えて、タブレットを使用した個に応じた学習を展開していきます。また今年から、外部の講師を招いて全学年でのプログラミング学習を実施することをお知らせしました。

また保護者の皆様に「みんながみんなの応援団」になろうという話をさせていただきました。私たち教員は、言うまでもなく子どもの支えになりたいと考え、毎日授業を行い、子ども達とともに学校生活をしています。子どもの成長を手助けする応援団でありたいと願いつつ、日々精進しています。と同時に、その中で子ども教員は子ども達の笑顔に支えられ、子ども達から元気をもらっています。教員は自分たち子ども達の応援団のつもりでいますが、実のところ、子ども達に応援してもらっていることにもなります。

また、私たち教員は、保護者の皆様から子育ての悩み等をお聞きし、いっしょに考え助言を差し上げます。教員は「子育て応援団」のつもりで、いろいろな話をします。同時に、保護者の方の温かい言葉や対応によって、教員は元気づけられ、勇気づけられるものです。あのお母さんからもらったひと言でがんばれたという経験を持つ教員は、たくさんいます。ですから、保護者のみなさんは私たちの大切な応援団なのです。

この「みんながみんなの応援団」ということは、子ども達と教員、保護者と教員が「お互いがお互いの応援団」になれるようにと願いを込めてお話しさせていただきました。

最後に、アメリカのウィリアム・ウォードの名言を引用して4つのタイプの教師の話をしました。

平凡な教師は、言って聞かせる

よい教師は、説明する

優秀な教師は、やってみせる

最高の教師は、子どもの心に火を付ける

ニューデリー日本人学校の教師一同も、子どもたちのためにこの最高の教師を目指して日々教育活動に取り組んでいきます。これから1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



ようこそニューデリー日本人学校へ



今年度は特別教室棟の建て替え工事に関わる移転作業のため、14日から令和7年度がはじまりました。32名の転入生を迎える「ナマステの会」を行い、25名の新しいNDJS生をお迎えしました。さらに、4名の転入生を迎え、29日にも新しい児童生徒会役員によるナマステの会を持ちました。インドにある日本の学校ならではの魅力をいかした学びの活動を一緒につくっていきましょう！



ご入学おめでとうございます

4月15日（火）、小学部1年25名、中学部1年24名を迎え、令和7年度のニューデリー日本人学校入学式が挙行されました。在インド日本国大使館代理大使有吉様、本校学校理事長伊藤様、PTA会長鬼束様をはじめ、たくさんの来賓の方々にもご臨席いただき、お祝いしていただきました。



今年度着任職員紹介

今年度は日本から11名の職員が着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。



<令和7年度着任職員>

朝野 友子	大阪府より
東 衣緒	鹿児島県より
伊藤 林大郎	山形県より
佐々木 直人	宮城県より
佐藤 愛瑠未	大分県より
佐納 達平	大阪府より
土江 梨沙	大阪府より
豊田 聡	茨城県より
投石 浩稔	兵庫県より
藤本 理人	岡山県より
森 拓夢	静岡県より

<令和7年度着任職員のメッセージ>

★ 出身は岐阜県、学生時代は愛知県、教員生活は大阪で数十年、ハノイ日本人学校で三年間、その後一年間愛媛県松山市で過ごして、ニューデリーにやってきました。インドでの新しい生活、とっても楽しみにしています。食べることに、笑うことが大好きです。どうぞよろしくお願いいたします。
朝野 友子(あさの ともこ)

★ はじめまして！鹿児島県から来ました！インドでの生活は毎日刺激や驚きがあり、とても楽しく過ごしています。日本とは全く異なる土地で毎日元気に頑張る子どもたちを見て、私も頑張ろうと励まされています。まだ慣れないことばかりですが、子どもたちと一緒に大きく成長していきたいと思っています。よろしくお願いします！
東 衣緒(あづま いお)

★ 山形県より参りました。日本とは大きく異なる環境でたくましく学習し、伸びていく毎日の子どもたちの姿から、私自身もたくさんの学びを得た1か月でした。子どもたちの更なる成長のために出来ることを精一杯がんばりたいと思います。
伊藤 林大郎(いとう りんたろう)

★ 宮城県登米市から赴任しました。毎日が新鮮でインドにきて楽しませてもらっています。元気いっぱいのニューデリー日本人学校の皆さんから元気をもらっています。インドに来たからには、インドでできることを全力で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
佐々木 直人(ささき なおと)

★ 一步外を出れば、牛やサル、リスに出会えるインドの生活に毎日とてもワクワクしています。インドの面白いところをたくさん見つけていきたいと思っています。学年関係なく、ぜひたくさんお話ししましょう。よろしくお願いします。
佐藤 愛瑠未(さとう えるみ)

★ 大阪府から参りました。G 2 - 1 の担任をしています。気候や文化など日本とは大きく異なる中でも、元気に過ごしているみなさんに毎日元気をもらっています。G 2 以外の児童や生徒のみなさんともたくさんお話したいと思っています。気軽に声をかけてください。よろしくお願いします。
佐納 達平（さのう たっぺい）

★ 大阪府から派遣されました。ニューデリー日本人学校の児童生徒たちは、しっかりと自分の考えを自分の言葉で伝えることが上手だな、と日々感心しています。私も一緒に学んで成長していきたいと思います。日本では、和食が大好きでしたが、すでにインド料理の虜になりつつあります。美味しいおすすめ料理がありましたら、たくさん教えてください！よろしくおねがいします。
土江 梨沙（つちえ りさ）

★ 赴任早々、お腹をこわしてしまいました。インドの環境は、暑さや大気汚染だけでなく、いろいろ厳しいものがあると思い知る機会になりました。環境の厳しさは、みな一緒です。お腹をこわした時に、生徒のみなさんが、ほんとうに優しい言葉をかけてくれました。自分の経験をもとにアドバイスをしてくれる子もいました。つらかったけれど、とても嬉しい経験になりました。この国で一緒に頑張っていこうという気持ちを確認することができました。
豊田 聡（とよた さとし）

★ 兵庫県西宮市から赴任しました。インドにきて、毎日、いろんな発見があり、ワクワクドキドキの毎日です。ニューデリー日本人学校での皆さんとの出会いを大切に、「今できることを全力で」をモットーに過ごしたいと思っています。よろしくお願いします。
投石 浩稔（なげいし ひろとし）

★ はじめまして！岡山から来ました。スポーツが大好きです。小学生のころからバレーボールをしています。また、大の阪神タイガースファンです🐼 衝撃ばかりのインド生活です。インドのおすすめのスポットを教えてください。これからよろしくお願いします。
藤本 理人（ふじもと りと）

★ はじめまして。静岡県から来ました。ぎょうざとスポーツが大好きです。インドにもぎょうざに似たような食べ物がたくさんありテンションが上がっております。おなかを壊さないように、おなかポッコリでないように食事はほどほどにして、食文化と学校生活を楽しみたいです。よろしくお願いします。
森 拓夢（もり たくむ）

今年度職員体制

校長	尾後貫 智	教頭	小田 恵美子	教務主任	大久 保智巳	副教務主任	朝野 友子
養護教諭	榎本 朔美	音楽専科	バルミ 緑	英会話講師	Joylene Medom	スクールカウンセラー	鈴木 貴子
1 年 1 組	土江 梨沙	2 年 1 組	佐納 達平	2 年 2 組	三牧 璃佳	小学部副担	佐藤 愛瑠未
3 年 1 組	茂木 千恵	3 年 2 組	森 拓夢	4 年 1 組	豊田 聡	4 年 2 組	増島 樹里
5 年 1 組	投石 浩稔	5 年 2 組	佐々木 直人	6 年 1 組	増田 和記	6 年 2 組	藤本 理人
スーリヤ 1	岡田 利統	スーリヤ 2	山田 萌子	中学部主任	近藤 純平	中学部副担	東 衣緒
7 年	山下 法政	8 年	伊藤 林大郎	9 年	鈴木 結加里		
事務	根元 志保	事務	雪丸 加奈	通訳	Meenu Rajput	通訳	Srishti Taneja

授業参観・学級懇談会・PTA 総会

授業参観・学級懇談・PTA 総会

ご参加ありがとうございました！

29日、今年度初めての参観授業・学級懇談会・PTA 総会が行われました。たくさんの保護者の方の参観で授業にも良い緊張感が流れました。PTA 総会では、新役員の紹介、PTA 規約改正、学校概要説明などが行われました。PTA 役員、バス委委員のみなさまありがとうございました。



水泳指導がはじまりました！



事故がなく楽しいプール活動ができるように、プールプージャーが行われました。28日から始まって、9月28日までプールを使用します。土日や長期休業中も保護者同伴で使用できますのでご活用ください。



<児童生徒数>

4月30日現在 スーリヤ生の数は交流学級に計上しています。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	スーリヤ	計
男子	3	12	13	19	18	12	12	15	13	(4)	117
女子	22	17	16	10	15	18	12	11	13	0	134
計	25	29	29	29	33	30	24	26	26	(4)	251

